

中国知財のプロによる講演と対話形式の解説！

知りたかった中国特許・実用新案の実務

日本とは大きく異なる特許性判断基準によって中国特許出願の権利化を諦めていませんか？日本の進歩性あたる創造性判断では、一見して似ているように思われますが実務的な判断は異なります。また、国際特許出願における優先権主張の考え方にも違いがあります。さらに、実用新案は特許と同様な効力があり、係争に巻き込まれる危険性があります。

本講座では、中国人専門家と日本人の知的財産プロスタッフとの対話形式により日本と中国の違いを明らかにしながら詳しく解説して行きます。

【講師】 陳 英俊（北京鴻元知識産権代理有限公司 所長）
八巻 隆博（日本特許データサービス㈱ 知財研修部 部長、元住友金属工業㈱ 知的財産部長）

【日時】 2024年12月19日（木）13:30-16:30（13:00 受付開始）

【場所】 東京会場（対面のみ）
アクセス: <https://www.jpds.co.jp/company/access.html>

【参加費】 16,000円（税込17,600円）

【定員】 35名（先着順受付）

【対象】 知的財産部門担当者

【プログラム】

13:30	ご挨拶、講師ご紹介
13:35	◆中国特許(発明専利)の実務 ・特許制度概要紹介 ・中国知識産権局の組織と運用（知識産権局と審査協力センターの体制） ・発明(技術方案)と特許性(特に創造性)について ・中国では認められにくい日本からの優先権主張出願 ・中国には間接侵害は無いのか?? ・懲罰的賠償制度の現状
15:00	休憩
15:10	◆中国実用新案(实用新型専利)の実務 ・実用新案制度概要紹介 ・中国実用新案は無審査なのか?? ・無効審判の現状（創造性欠如による無効化は困難） ・権利活用は特許と同等なのか??
16:15	質疑応答
16:30	終了

【お申込み】 当社ホームページよりお申し込みください。

URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申ください。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。
- ・ 利益相反、他の理由により参加をお断りすることがありますので、予めご了承ください。